時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價郵送料廣告料は左の如し
一枚二錢○一箇月前金壹十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓○一箇年前金六圓○月賦休刊
○時事新報社ヨリ直接ニ郵送スル者ノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢の郵送料ヲ申受ク
時事新報廣告料（別表）

一行平均廣告料四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行	金	付	十三錢
		十一錢	十錢五厘

本社（寄稿に付
東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて遠方より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

北海道の漫遊

我輩は前號の紙上に避暑旅行の圖を得て金に差支なき人々は近くは支那、朝鮮、浦塩斯德より遠くは米國邊の遠遊を試みては如何との旨を記したれども實際に考へれば假令其費用と時日とは内地の旅行に比して格別の相違なしとするも生來遠遊に慣れざる身に海外の旅行と聞ては坐上に種々の想像を畫き言語も不通なれば氣候も異なり船中の長旅は難義にして好き同伴も見當らず家族の者の心配も如何あらんなど兎角乙甲に思ふの情ある可し無理ならぬみとにして卒急の思立は中々容易ならざる可きが故に其實行は篇と勘考の上として之を來夏の談に讓り我輩は更に一般の人々に向て北海道の漫遊を勧むるものなり北海道と内地との交通は東北鐵道の開通以來一層の便利を増し東京上野より通し汽車にて青森に到り津輕海峡を越えて函館より定期船に搭じ小樽に上陸して炭礦鐵道の汽車に乗れば札幌に達するに二晝夜を費すに過ぎず斯くて炭礦線路の通ずる限り處々方々を遊覽して道中の要所を見盡し前の順路に由りて歸京すれば往復滞在ともに一週間にて充分なりと云ふ右は頗る切り詰めたる算當なれども現に實驗したる者の實談なれば相違ある可らず往復の便利なるは内地に於ける鐵道不通の場所と同日の談に非ざる其上に旅店その他の設け等も毫も不自由なきのみならず函館札幌の如きは却て内地人の耳目を驚すに足るの結構偉觀も少なからず且その氣候の相違ある世人の知る所なれば夏期の旅行には最も適當の地にして或は好奇の心に富み多少の時日を愛しまざるものには道内未開の地に入り土人の風俗を探るなどの餘興もあり可し殊に幸ひなるは同道廳の發企にて來る八月一日より北海道鑛業共進會を札幌に開き同道一切の物産を蒐集して一は農産漁業製造等の進歩を奬勵し一は近年來同道に於ける各事業進歩の有樣を世人に示さんとの趣向にて成る可く内地人の來觀をも望むとのみとなれば漫遊者の爲めには此上もなき好機會にして序ながら一見して案外に利する所もある可し若しも内地の人々にして此勧めに應じ漫遊を企づるもの多きに至らんか東道の主人たる同道の當局者に於ても自から待遇の設けあきを得ず即ち汽船會社鐵道會社と特約して共進會遊覽の客人に限り賃銭を割引せしめ來遊者の便利を謀り共進會の催しは同道の事業奬勵の爲めとは云ひながら其進歩の有樣を一般の内地人に示すも目的の一に相違なければ一人にても來客の多からんとみとは當局者の望む所なる可ければなり又近來北海道には製糖會社の不始末あり炭礦鐵道會社の事件もありて同道の事とあれば何か一種の情實ありて一般に不整理なるが如くに云ふものもなきに非ずと雖も開拓使の廢止以來既に十數年を經て長官の更迭も一再のみならず施政上及び事業上の事に就ても次第に改良整理の功を見たるのみならず近來に至りては中央政府よりの監督も行屆きて一點の情實を許さざるは一般の内地と異なる所なければ同道に限りて特に不整理不始末の廉多しとは我輩の信ずるみと能はざる所なれども流言一出して世間の紛々たるは自から其故なきに非ざるが如し蓋し從來内地人の北海道を見るは恰も他國と同樣、足その地を踏まず目その實を見ずして其耳にする所は多くは開拓使時代の歴史談に過ぎず故に北海道の事とあれば忽ち其歴史談より想像して判斷を下すの常なれば往々事實を誤るみと少なからず即ち世人の想像する北海道は開拓使時代の北海道にして今年今日の北海道に非ざればなり左れば不整理云々の事實如何は姑く別問題として兎に角に世人が北海道に對する知見は其程度頗る幼稚にして動もすれば判斷を誤るみとなきに非ず同道の爲めに謀りて大なる不利なれば今回の共進會の如き之を好機會として内地より暑中の來遊を導き序ながら北海の真面目を示すの工風あらんみと竊に冀望する所なり

官報

○文部省令第十七號
勅令用圖書檢定手數料ヲ明治二十四年（十二月）勅令第二百四十五號ニ依リ本年九月一日ヨリ登記印紙ヲ以テ納ムヘシ
明治二十五年七月十四日　文部大臣伯爵大木喬任

○文部省令第十四號
明治二十四年（十一月）文部省令第十九號小學校教員檢定等ニ關スル規則施行以前ニ授與シタル小學教員免許狀又ハ之ト同一ノ効ヲ有スル小學師範學科卒業證書ニ有効期限ノ滿ツルモノ當ニ米國の我國に對する好意にも報じ我國柄を今一層廣く外國に知らしむる策の實行し難き事なり米國の我國に對し好意を表するみとは今日に始まりたるにもあらざれども今般の博覽會に付ては殊に好意を表して諸事我國の便利を計り今度鳳凰堂建設の場所なるウーデン　アイランドの如き各國より等しく所望して殆んど競爭の傾を顯したれども遂に米政府は我國にのみ建設を許したるが如きは即ち米國が非常の好意を以て我國を迎へたるを知るべし情義上より云ふも出品外に相當の交際を爲して其好意に酬ゆる所あるべきは至當のみとにして又我國の名聲を高むるにも好機會なりと云ふべし他の諸外國政府は博覽會の經費我國より多くして其大半は出品外の費用に使用するみとなるに我國は全力を出品保護の爲めに盡して其他に使用するの資金なきは今回の博覽會に對する一欠點なりとて當局者も頗ふる遺憾の思ひを爲し居るよし

雜報

○實物取調の結果　實物取調局なるものを設置し全國各所の神社佛閣等に在る實物の取調べに着手したる以來昨年の暮に至る迄足懸凡そ三年を費せしが其間に取調委員の巡回したる地方は未だ全國の半にも及ばざれども最初より斯る名品の多き地方を撰びて巡回したるがゆゑ取調の點數は割合に多く既に十萬點以上を鑑査せり而して今其取調べに要したる一切の經費を此取調濟と爲りたる點數に割當るときは一點に付き平均六錢二厘八毛宛の勘定なり昔し探幽が古書畫の類を鑑定するや多きは五百匹少きも百匹以上二百匹位の鑑定料を取れり即ち當時の通貨にして其最高價は一兩一分となるがゆゑ若し之を今日の相場に換算せば餘程の金高に上るべし然るに實物取調委員の鑑定料とも云ふべき實費は一點に付き僅かに六錢餘に過ぎず之を彼の探幽の鑑定料に比すれば雲泥の相違あり政府の事業としては割合に經費の少かりし方なりと或る好古家は物語れり

○臨時博覽會事務局の困難　明年開會の米國シカゴ博覽會出品噸數の非常に増加したると銀貨下落の爲め經費の上に著るしき違算を生じたるにより博覽會事務局は最初の目的の大ひに齟齬して困難を成じ居るみとは既に本紙に記したるが元來同事務局の豫算にては從前外國博覽會に我國より出品したる噸數は四百五十噸以上に越えたるみとなし今度の米國博覽會は尤も世人の注意する所なれども從前の倍數と見積らば充分なるべしとて一千噸と豫定したるに實際各府縣より出願し來るものは案外に多くして六千餘噸に達したり斯る多數の出品は到底爲すべからざれば最きに各府縣知事の上京を幸に充分減額の打合を爲し漸くにして一千七百五十噸となせり然れども既に豫算よりは七百五十噸を増加し其上近年銀貨下落したれば經費の總額六十三萬圓になれども其實米金に換算すれば四十二三萬圓に過ぎず噸數増加の上に一方の經費減額したる事なれば事務局最初の計畫は全く相違して何とか豫算の組立てを變せざるべからず止むをえんば出品保護の幾分を減ずるより外に策なし今回我政府が出品人に保護を與ふるの厚きは他に絶えて類例を見ざる所にして運賃を初めとし海上保險、火災保險、倉敷料、陳列飾箱、會場裝飾等に至る迄凡そ政府の負擔にして寧ろ其厚きに過ぐるの嫌あるる程なれば其中幾分を出品人の負擔に歸せしめても差支なき筈なれども我國の出品者は事に狃れざるが故に尚ほ此上の保護を得んとして頻りに奔走するものあり出品人の心情右の如くなれば今更ら保護を減ずべからざる事情あり遂に事務局にては出品外の經費を振り向けて其不足を補ふべしなしたれども經費は限りあるものなれば一方に移せば一方に不足を生ずるは當然にして甚に困難なるは出品外に相當の交際をも爲し又相

○五百羅漢の價十八萬圓　藏せる五百羅漢の圖を寫せり而して今其所なるが同寺も世の變遷に際し寶物を抵當として他より借金するや也不知意勝なる經濟に出る事を得ざるのみならず有樣なればイッソの事大して經濟を整理するに如かず圖もれば何事も遺憾なし百羅漢の畫像を賣却せんと相談を爲したる處仕合に事ありしかば同寺は早速でたり右に付き地方廳は國寶物取調局の意見を聞の際之を三等の部類に不足なかるべしとの回答に關し止むを得ざる場合なる事とはなれり而して大るやを知らざれども其買圖にて買求めたるよし想を爲したる者の口錢も金寺の手にはソックリ其金以上の金は僅かに賣主の て其五百羅漢の畫像は一

○金融少しく動き始ひ　は始終遊金に苦しのみな き始めたるの氣味あり勿 大口の貸借には金利も昂 には一二厘乃至二三厘方 らず現に整理公債の如き 以て五分の利息に滿足す 金融の動き始むべき徴と 賣行好況にして地方荷主 爲すの便あるより金を借 ずして是迄銀行者の頼み の繁忙を來さいるものの 慢に止まりしものなれど んに製絲業に着手したる の一小部分たるに止まり 融通を求めざるを得ざる るものならんと云（り

○金庫視察員の歸京　日本支金庫視察員に出張せし山陰山陽兩道（出張したる 歸京の著なりと

○京預同盟銀行定式會　行集會所に於て開く趣ひ 五十錢銀貨の授受に對す 書取扱の件に就ての質問

○大坂商船會社の收入高　り六月三十日迄の營業上 船四十八艘にして運送商 運賃二十八萬千二百七十 萬千九百六十八人、此運 錢八厘なり之を昨年の上 數は稍増加したるも競爭 減少したるよし又當季間 兵庫、末廣の三艘なりし